

令和7年度までの取組状況 令和8年度以降の取組予定

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
福井県管理河川 嶺南ブロック減災対策協議会

令和8年2月12日

○ 河川の氾濫による被害を軽減させるため、令和4年度～令和8年度までの5ヶ年で実施する取組内容34項目を設定し、国・県・市町が連携・協力して取り組んでいる。

■ 主な取組内容

(1)円滑かつ迅速な避難のための取り組み【24項目】

- 水害・土砂災害対応タイムラインの作成・活用等 << a >>
 - ・「ふくい県域タイムライン」や「市町タイムライン」の策定 <a1,a2,a6>
 - ・「コミュニティタイムライン」や「マイタイムライン」の作成促進 <a3,a4,a7>
- 避難行動のための情報発信等 << b >>
 - ・雨量、河川水位、河川監視カメラ映像などの情報提供および利用促進への周知・啓発 <b3>
 - ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証・改善 <b7>
- 避難行動、水防活動に資する施設等の整備 << e >>
 - ・水位計・量水標、河川監視カメラ設置と情報共有 <e1>

(2)的確な水防活動のための取り組み【7項目】

- 水防活動支援のための情報共有、水防体制の強化 << f, g >>
 - ・重要水部箇所の情報共有と関係市町との共同点検 <f1>
 - ・大雨時における関係機関の情報共有体制の強化と情報伝達訓練の実施 <g1>

(3)一刻も早い復旧のための取り組み【3項目】

- 排水活動等の強化、災害復旧に対する支援の強化 << i, j >>
 - ・排水ポンプ車等を用いた排水訓練の実施 <i1>
 - ・福井県災害復旧アドバイザー派遣制度や緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の活用 <j1,j2>

■ 県協議会の取組内容（令和7年度までの実績、令和8年度以降の予定）

- 減災のための取組内容34項目について、令和7年度までに全ての項目を実施しました。
- 引き続き、国・県・市町が連携・協力して取り組んでいきます。

主な取組内容（R4～R8）	目標時期	取組機関	令和7年度 まで	令和8年度 以降
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取り組み				
① 情報伝達、避難計画に関する事項				
a. 水害・土砂災害対応タイムラインの作成・活用等				
a1 福井県全域を対象とした「ふくい県域タイムライン」の策定	R4年度から 実施	協議会全体	○	○
a2 市町のとるべき防災行動や避難情報発令のタイミングなどを定め た市町タイムラインの策定	R4年度から 実施	市町	○	○
a3 共助に基づく避難行動を行うコミュニティタイムラインの作成促進	R4年度から 実施	市町	○	○
a4 住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の作成促進	R4年度から 実施	市町	○	○
a5 指定避難所等までの避難ルートを示した避難マップ(防災マップ)の 作成促進	R4年度から 実施	市町	○	○
a6 県域・市町タイムラインの検証と改善	引き続き実施	協議会全体	○	○
a7 タイムラインの作成支援	引き続き実施	気象台, 近畿地整, 福井県	○	○

主な取組内容（R4～R8）	目標時期	取組機関	令和7年度 まで	令和8年度 以降
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取り組み				
② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項				
b. 避難行動のための情報発信等				
b1 防災行政無線の活用推進のための検討・促進	引き続き実施	市町	○	○
b2 防災メール、SNSの利用登録促進	引き続き実施	市町, 近畿地整, 福井県	○	○
b3 雨量、河川水位、河川監視カメラ映像などの情報を提供(配信) および住民利用促進のための周知・啓発	引き続き実施	気象台, 近畿地整, 福井県	○	○
b4 氾濫の危険性や切迫度がより伝わるよう洪水予報文の改良と運用	引き続き実施	気象台, 近畿地整, 福井県	○	○
b5 洪水危険度分布および予測値の利活用促進	引き続き実施	市町, 気象台	○	○
b6 災害発生のおそれがある場合の首長とのホットラインによる 国、県と市町の情報共有	引き続き実施	市町, 気象台, 近畿地整, 福井県	○	○
b7 要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の 促進	引き続き実施	市町	○	○
c. ハザードマップの周知・活用等 ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の実施				
c1 想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用等	引き続き実施	市町	○	○
c2 ハザードマップ、タイムラインを用いた避難訓練の支援	R4年度から 実施	市町	○	○
c3 浸水実績等の周知	引き続き実施	福井県	○	○
c4 広域避難や民間施設等の避難場所確保の必要性について検討	R4年度から 実施	市町	○	○

■ 県協議会の取組内容（令和7年度までの実績、令和8年度以降の予定）

主な取組内容（R4～R8）	目標時期	取組機関	令和7年度 まで	令和8年度 以降
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取り組み				
② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項				
d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充				
d1 小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展の実施	引き続き実施	協議会全体	○	○
d2 「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動への働きかけ	R4年度から実施	協議会全体	○	○
d3 高齢者の避難行動の理解促進のため、地域域包括支援センター・ケアマネジャー等と連携	引き続き実施	協議会全体	○	○
d4 出水に対するダムや河川改修の効果の情報提供	引き続き実施	近畿地整, 福井県	○	○
③ 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項				
e. 避難行動、水防活動に資する施設等の整備				
e1 早期の避難勧告等の発令判断や水防活動を支援するため、水位計・量水標、河川監視カメラ設置の検討と情報共有	引き続き実施	福井県	○	○
e2 氾濫危険水位等の基準水位の見直し	引き続き実施	福井県	○	○

主な取組内容（R4～R8）	目標時期	取組機関	令和7年度 まで	令和8年度 以降
(2) 的確な水防活動のための取り組み				
① 水防活動の効率化および水防体制強化に関する事項				
f. 水防活動支援のための情報共有				
f1 重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施	引き続き実施	市町, 福井県	○	○
g. 水防体制の強化				
g1 大雨時における関係機関の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施	R4年度から 実施	協議会全体	○	○
g2 水防資機材の備蓄等の確認	引き続き実施	市町, 福井県	○	○
g3 水防団員や消防団員の募集の強化	引き続き実施	協議会全体	○	○
g4 自主防災組織の活用・強化	引き続き実施	協議会全体	○	○
g5 水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認 (ハザードマップ、タイムラインの活用も検討)	引き続き実施	協議会全体	○	○
② 市町村庁舎等の自衛水防の推進に関する事項				
h. 洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実				
h1 庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策	引き続き実施	市町	○	○

■ 県協議会の取組内容（令和7年度までの実績、令和8年度以降の予定）

主な取組内容（R4～R8）		目標時期	取組機関	令和7年度 まで	令和8年度 以降
(3) 一刻も早い復旧のための取り組み					
i.	排水活動等の強化				
	i1 排水ポンプ車等を用いた排水訓練の実施	引き続き実施	福井県	○	○
j.	災害復旧に対する支援の強化				
	j1 福井県災害復旧アドバイザー派遣制度の活用・支援	引き続き実施	市町, 福井県	○	○
	j2 大規模災害発生時に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCEや資機材)の活用	引き続き実施	市町, 福井県	○	○